



平成29年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成29年2月10日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 安楽亭

コード番号 7562 URL <http://www.anrakutei.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 柳 時機

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役管理本部長

(氏名) 安部 一夫

TEL 048-859-0555

四半期報告書提出予定日 平成29年2月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成29年3月期第3四半期の連結業績(平成28年4月1日～平成28年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
29年3月期第3四半期	12,413	△3.4	100	△79.9	83	△82.6	△88	△131.0
28年3月期第3四半期	12,845	△0.4	499	16.7	481	67.0	287	△17.8

(注)包括利益 29年3月期第3四半期 △79百万円 (△127.1%) 28年3月期第3四半期 291百万円 (△18.1%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
29年3月期第3四半期	△41.58	—
28年3月期第3四半期	134.29	—

※当社は、平成28年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、1株当たり四半期純利益を算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
29年3月期第3四半期	14,804	6,082	41.1
28年3月期	14,257	6,162	43.2

(参考)自己資本 29年3月期第3四半期 6,082百万円 28年3月期 6,162百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
28年3月期	—	0.00	—	0.00	0.00
29年3月期	—	0.00	—	—	—
29年3月期(予想)	—	—	—	0.00	0.00

(注)直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成29年3月期の連結業績予想(平成28年4月1日～平成29年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	16,920	△0.9	280	△46.6	240	△51.9	90	△77.7	42.08

(注)直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※当社は、平成28年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。平成29年3月期の通期の連結業績予想における1株当たり当期純利益につきましては、当該株式併合の影響を考慮しております。

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無
新規 一社 (社名) 、 除外 一社 (社名)

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(注) 詳細は、添付資料3ページ「2. サマリー情報(注記事項)に関する事項 (3)会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示」をご覧ください。

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

29年3月期3Q	2,150,434 株	28年3月期	2,150,434 株
----------	-------------	--------	-------------

② 期末自己株式数

29年3月期3Q	11,774 株	28年3月期	11,628 株
----------	----------	--------	----------

③ 期中平均株式数(四半期累計)

29年3月期3Q	2,138,766 株	28年3月期3Q	2,138,883 株
----------	-------------	----------	-------------

※当社は、平成28年10月1日付で普通株式10株につき1株の割合で株式併合を実施しております。前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、期末発行済株式数、期末自己株式数及び期中平均株式数を算定しております。

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続が実施中です。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報 (3)連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
(4) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間におけるわが国の経済は、雇用・所得環境の改善が進み、緩やかな改善基調で推移した一方で、個人消費におきましては従前からの節約志向が強まり、停滞感が見られました。また、中国やアジア新興国経済の減速や米国の大統領選以降の円安・ドル高基調に対する懸念等、海外の政治・経済について不確実性が高まってきていることから、景気の先行きについては不透明な状況が継続しております。

外食業界におきましては、牛肉等の原材料価格の高騰に加えて、人手不足の状況が継続しております。また、消費者の生活防衛意識が一層強まり、低価格商品への需要が高まる等、依然として厳しい経営環境が続いております。

このような環境の下、当社グループは、経営理念である「食を通じて地域社会の豊かな生活文化の向上に貢献する」に基づき、お客様のご要望に合う魅力あふれる「安全・安心」に配慮した商品の提供に加え、おもてなしの心を込めたサービスの提供に努めてまいりました。しかしながら、売上高の減少、改装に伴う減価償却費の増加等を踏まえ、繰延税金資産の一部を取り崩し、法人税等調整額を計上することとなりました。

以上の結果、当第3四半期連結累計期間の業績につきましては、売上高124億13百万円（対前年同期比3.4%減）、営業利益1億円（対前年同期比79.9%減）、経常利益83百万円（対前年同期比82.6%減）、親会社株主に帰属する四半期純損失88百万円（前年同期は親会社株主に帰属する四半期純利益2億87百万円）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

① 安楽亭業態

安楽亭業態の当第3四半期連結会計期間末の店舗数は194店舗であります。内訳は直営155店舗、暖簾8店舗、F C 31店舗であります。

販売促進及び商品開発につきましては、「ず〜っと継続決定！新・食べ放題パリュウコース2,480円」、「ランチもディナーも大幅値下げ！新商品続々メニュー大改定」等、値ごろ感のある価格改定に取り組み集客の強化を図ってまいりました。また、「焼肉宴会」、「冬のわいわい宝くじ」、「極み焼きしゃぶ祭」、「大晦日大感謝祭フェア・食べ放題10%OFF」等、安楽亭の楽しさを伝えるフェアを行ってまいりました。

以上の結果、安楽亭業態の当第3四半期連結累計期間の売上高は105億51百万円（対前年同期比4.6%減）となり、セグメント利益（営業利益）は6億7百万円（対前年同期比23.5%減）となりました。

② 七輪房業態

七輪房業態の当第3四半期連結会計期間末の店舗数は26店舗であります。内訳は直営23店舗、暖簾1店舗、F C 2店舗であります。

販売促進及び商品開発につきましては、「ホルモンで秋呑みフェア」、「価格改定・新価格開始」、「医食同源をテーマに・冬のあったか鍋フェア」、「七輪を使って仕上げる・炭火でカリッとプチ鯛焼き」等、七輪房の楽しさを伝えるフェアを行ってまいりました。

以上の結果、七輪房業態の当第3四半期連結累計期間の売上高は16億32百万円（対前年同期比5.6%増）となり、セグメント利益（営業利益）は57百万円（対前年同期比62.1%減）となりました。

③ その他業態

その他業態の当第3四半期連結会計期間末の店舗数は9店舗であります。内訳は直営3店舗、F C 6店舗であります。

なお、その他業態には、「からくに屋（焼肉）」、「国産牛カルビ本舗安楽亭（焼肉）」、「和牛カルビ屋（焼肉）」、「春秋亭（和食）」、「上海菜館（中華）」、「龍饗（中華）」、「AGRICOCO（イタリアン）」、「カフェビーンズ（喫茶）」を含んでおります。

以上の結果、その他業態の当第3四半期連結累計期間の売上高は2億29百万円（対前年同期比5.6%減）となり、セグメント利益（営業利益）は11百万円（対前年同期比25.3%減）となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の資産は、前連結会計年度末に比べ5億46百万円増加し、148億4百万円となりました。これは、新規出店及び既存店改装による有形固定資産の増加等が要因です。負債は、前連結会計年度末に比べ6億26百万円増加し、87億21百万円となりました。これは、新規出店及び既存店改装資金としての借入金の増加等が要因です。純資産は、前連結会計年度末に比べ79百万円減少し、60億82百万円となりました。これは、親会社株主に帰属する四半期純損失の計上等が要因です。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

通期の業績予想につきましては、平成28年11月10日に公表いたしました「特別損益の計上及び業績予想（連結・個別）の修正に関するお知らせ」から変更しておりません。

なお、業績予想につきましては、本資料の発表日において入手可能な情報に基づき当社で判断したものであり、実際の業績は今後様々な要因によって予想と異なる場合があります。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

(会計方針の変更)

法人税法の改正に伴い、「平成28年度税制改正に係る減価償却方法の変更に関する実務上の取扱い」（実務対応報告第32号 平成28年6月17日）を第1四半期連結会計期間に適用し、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更しております。

この結果、当第3四半期連結累計期間の営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ25,644千円増加しております。

(4) 追加情報

「繰延税金資産の回収可能性に関する適用指針」（企業会計基準適用指針第26号 平成28年3月28日）を第1四半期連結会計期間から適用しております。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	2,232,869	2,201,933
受取手形及び売掛金	350,384	353,503
商品及び製品	146,473	189,549
仕掛品	778	1,397
原材料及び貯蔵品	585,936	593,323
前払費用	204,629	207,445
繰延税金資産	77,001	66,915
その他	111,762	150,200
貸倒引当金	—	△785
流動資産合計	3,709,836	3,763,483
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	2,447,150	2,799,494
機械装置及び運搬具（純額）	58,426	106,278
工具、器具及び備品（純額）	217,656	338,693
土地	4,978,239	5,004,097
リース資産（純額）	135,248	103,367
建設仮勘定	3,288	2,551
有形固定資産合計	7,840,009	8,354,483
無形固定資産		
投資その他の資産		
投資有価証券	72,589	118,547
長期貸付金	8,309	7,088
長期前払費用	16,363	21,533
繰延税金資産	93,679	55,715
敷金及び保証金	2,358,936	2,333,322
その他	70,993	50,867
貸倒引当金	△27,955	△26,589
投資その他の資産合計	2,592,916	2,560,485
固定資産合計	10,547,790	11,041,119
資産合計	14,257,627	14,804,602

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成28年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成28年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	563,250	620,979
短期借入金	549,289	727,476
リース債務	47,233	44,840
割賦未払金	134,266	148,715
未払金	337,911	177,360
設備関係未払金	137,577	95,189
未払費用	477,472	507,615
未払法人税等	398	111,953
未払消費税等	81,427	52,787
賞与引当金	86,912	47,737
転貸損失引当金	7,537	12,337
その他	396,246	335,609
流動負債合計	2,819,523	2,882,603
固定負債		
長期借入金	4,008,827	4,515,643
リース債務	101,587	67,789
長期割賦未払金	431,352	489,849
繰延税金負債	103,419	104,225
役員退職慰労引当金	319,987	331,493
転貸損失引当金	43,152	66,052
退職給付に係る負債	189,698	184,188
その他	77,454	79,954
固定負債合計	5,275,478	5,839,195
負債合計	8,095,001	8,721,799
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,182,385	3,182,385
資本剰余金	2,537,261	2,537,261
利益剰余金	523,172	434,249
自己株式	△69,349	△70,016
株主資本合計	6,173,469	6,083,879
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△10,844	△1,075
その他の包括利益累計額合計	△10,844	△1,075
純資産合計	6,162,625	6,082,803
負債純資産合計	14,257,627	14,804,602

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
売上高	12,845,430	12,413,104
売上原価	4,641,942	4,393,025
売上総利益	8,203,487	8,020,078
販売費及び一般管理費	7,704,058	7,919,734
営業利益	499,429	100,344
営業外収益		
受取利息	22,148	1,421
受取配当金	1,796	1,966
受取地代家賃	7,700	7,662
貸倒引当金戻入額	548	580
その他	26,324	40,884
営業外収益合計	58,518	52,514
営業外費用		
支払利息	69,523	60,747
その他	6,679	8,259
営業外費用合計	76,203	69,007
経常利益	481,743	83,851
特別利益		
固定資産売却益	1,050	196
投資有価証券売却益	112	—
転貸損失引当金戻入額	8,189	—
受取保険金	216	30,897
特別利益合計	9,567	31,094
特別損失		
固定資産除却損	14,084	17,036
減損損失	5,202	38,788
賃貸借契約解約損	2,222	5,787
転貸損失引当金繰入額	—	33,352
特別損失合計	21,508	94,963
税金等調整前四半期純利益	469,802	19,981
法人税、住民税及び事業税	153,729	64,336
法人税等調整額	28,834	44,568
法人税等合計	182,564	108,904
四半期純利益又は四半期純損失(△)	287,237	△88,923
親会社株主に帰属する四半期純利益又は親会社株主に帰属する四半期純損失(△)	287,237	△88,923

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成27年4月1日 至平成27年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成28年4月1日 至平成28年12月31日)
四半期純利益又は四半期純損失(△)	287,237	△88,923
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	4,721	9,768
その他の包括利益合計	4,721	9,768
四半期包括利益	291,959	△79,154
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	291,959	△79,154

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自 平成27年4月1日 至 平成27年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	安楽亭業態	七輪房業態	その他業態	計			
売上高							
外部顧客への売上高	11,056,302	1,545,751	243,376	12,845,430	12,845,430	—	12,845,430
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	11,056,302	1,545,751	243,376	12,845,430	12,845,430	—	12,845,430
セグメント利益	793,671	153,029	16,047	962,749	962,749	△463,320	499,429

(注) 1. セグメント利益の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注) 2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「安楽亭業態」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては5,202千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。

II 当第3四半期連結累計期間(自 平成28年4月1日 至 平成28年12月31日)

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント				合計	調整額 (注) 1	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 2
	安楽亭業態	七輪房業態	その他業態	計			
売上高							
外部顧客への売上高	10,551,316	1,632,002	229,785	12,413,104	12,413,104	—	12,413,104
セグメント間の内部売上 高又は振替高	—	—	—	—	—	—	—
計	10,551,316	1,632,002	229,785	12,413,104	12,413,104	—	12,413,104
セグメント利益	607,526	57,960	11,989	677,476	677,476	△577,132	100,344

(注) 1. セグメント利益の調整額は全社費用であり、主に報告セグメントに帰属しない一般管理費であります。

(注) 2. セグメント利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

会計方針の変更に記載のとおり、法人税法の改正に伴い、平成28年4月1日以後に取得した建物附属設備及び構築物に係る減価償却方法を定率法から定額法に変更したため、事業セグメントの減価償却の方法を同様に変更しております。

当該変更により、従来の方法に比べて、当第3四半期連結累計期間の「安楽亭業態」のセグメント利益が14,728千円増加し、「七輪房業態」のセグメント利益が10,684千円増加し、「その他業態」のセグメント利益が231千円増加しております。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

(固定資産に係る重要な減損損失)

「安楽亭業態」セグメントにおいて、減損損失を計上しております。なお、当該減損損失の計上額は、当第3四半期連結累計期間においては38,788千円であります。

(のれんの金額の重要な変動)

該当事項はありません。

(重要な負ののれん発生益)

該当事項はありません。